

刈谷城石垣隅櫓整備事業にかかるサウンディング型市場調査結果の公表について

1 サウンディング調査実施の経緯

刈谷城の石垣や隅櫓などの整備につきましては、公園施設として安全性を確保する観点から、技術的難易度が高いうえ、特殊工法の採用が想定されるため、設計段階から高度で専門的なノウハウや工法などの技術を持つ施工者が参画する必要があります。また、人件費や資材の高騰などによる事業費の変動を予見しつつ、法令を遵守したうえで石垣の安全性を確保できる工法により設計を進める必要があります、設計や施工条件などが大変厳しい難工事になると予想されます。

このことから、発注方式を、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の第 18 条の規定に基づく、技術協力・交渉方式（E C I 方式「設計交渉・施工タイプ」）とし、実施設計と施工のできる事業者を公募型プロポーザルにより選定する必要があると考えます。

本調査は事業者との対話により、刈谷城石垣隅櫓整備事業への参入の可能性や参加条件、スケジュールの妥当性等の実情を把握・検証し、適正に優先交渉事業者を決定するために実施しました。

2 サウンディングの実施スケジュール

サウンディング実施要領の公表：令和 6 年 1 2 月 1 0 日（火）

サウンディング実施の期間：令和 7 年 1 月 1 0 日（金）、1 4 日（火）

サウンディング結果概要の公表：令和 7 年 2 月 3 日（月）

3 サウンディングの参加者数

8 事業者

4 サウンディング結果の概要

サウンディングの主な意見については、下表のとおりです。なお、参加者の推定や競争を阻害する要因になると思われる内容の公表は行いません。

対話の対象	項目	対話結果の概要
1 参加資格	(1) 参加意欲	・積極的参加意欲あり（4 事業者） ・検討中（4 事業者）
	(2) 受注体制の構築	・JV で参加を検討している（8 事業者）
	(3) JV 構成員としての市内企業の採用	・市内企業の採用を積極的に行っていきたい。 ・業務多忙につき市内企業に参加を断られる恐れがある。
	(4) 受注体制上の支障となる内容や意見	・JV を結成するのに時間を要するため、その点を公募期間に反映してほしい。 ・JV の構成員数は適切である。 ・設計業務に従事する技術者の雇用関係の規定を追加してほうが良い。 ・学識経験者への意見聴取の想定回数と報酬を明記してほしい。
	(5) 業務の実績	・構成員に求める施工実績を明確にしてほしい。 ・概ね市が要求する施工実績を有している。
	(6) その他意見	・工事監理業務の有無について記載してほしい。 ・提出書類を簡略化してほしい。 ・審査基準の見直してほしい。 ・意見聴取する学識の氏名を公開してほしい ・スライド条項を規定してほしい。
2 要求水準	(1) 石垣に関すること	・特になし
	(2) 建造物に関すること	・市が想定する展示施設を明示してほしい ・市が想定する映像記録や冊子を明示してほしい。
	(3) その他設備	・特になし
	(4) その他意見	・CAD 図を提供してほしい。 ・変更設計の規定を設けてほしい。
3 その他	(1) 契約工期	・契約工事の延長規定を設けてほしい。
	(2) 公募期間	・技術提案の期間は最低 3～6 ヶ月ほしい ・1.5 ヶ月の期間で提案書の作成は困難である。 ・基本設計時の概算工事費算出の根拠を提示してほしい。
	(3) その他意見	・ヒアリングの実施方法を記載してほしい。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査において参加条件及び社会状況を考慮した懸案事項などの具体的な意見をいただきました。

今後、調査の結果を踏まえ、E C I 方式による事業者公募を実施する予定です。